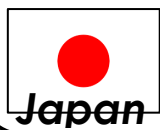


架け橋



JICA 海外協力隊 2021 年 1 次隊

ナミビア 小学校教育

ウサコス エロンゴサ小学校

川畑 舞



第 19 「エロンゴサ小学校 研修会」号

エロンゴサ小学校での研修会の様子

(2022 年 11 月発行)

今回は、エロンゴサ小学校で実施した研修会の様子についてお伝えします。

11 月 3 日の午後に、仲間の隊員と共に、先生の授業力改善を目的とした研修会をエロンゴサ小学校で実施しました。その研修会には、ウサコス市内の算数指導に携わる先生、エロンゴサ小学校の先生など、約 20 名の先生が参加しました。また JICA ナミビア支所の所長やナミビアのメディアの方々にもお越しいただき、研修会の一部の様子をナミビア全土に報道していただきました。その時の研修会の内容をご紹介します。

1、模擬授業 (2 桁 + 2 桁の筆算)	2、指導のポイントの確認
	
<p>説明だけでは伝わりづらいので、実際に模擬授業を通して自分が伝えたいことの本質を示しました。</p>	<p>板書計画・ノート指導、復習タイムの設定、スモールステップの学習過程、理解度の確認、少人数・個別指導などの話をしました。</p>
3、質疑応答	4、具体と抽象の話
	
<p>模擬授業を見て、「どうして具体物を使わないのか？」という質問が出たので、自然に次の「具体と抽象の話」に移りました。</p>	<p>具体物を使って理解した後、児童が抽象的な数字を使って考えられるようにしていくのが算数であるという話をしました。</p>

※指導者が具体物を一切使わなかったり、具体物と数字が結び付いていない児童が多かったりするというナミビア共和国の算数指導の課題に応じて話しています。